

全国から寄付 三島のNPO、マスク発送

ネパールの子どもに5万5000の思いやり

新型コロナウイルスに苦しむネパールの子どものため、マスクを募っていた三島市のNPO法人「グランドワーク(GW)三島」に、



マスクの発送に向け最終確認をする渡辺豊博さん(左)とスタッフ(右)三島市で

県内を中心に全国から五万五千枚超が寄せられた。発送を終え、クリスマスイブの二十四日までに現地にプレゼントとして届く予定だ。

GW三島の渡辺豊博専務理事は「思いやりの気持ちに感謝いっぱいです」と語った。

発送したのは不織布が約五万枚で布製約五千枚。不織布のうち約三万枚は、本紙の記事を見た湖西市の企業から寄せられた。

GW三島と協力して寄付を募ったネパール日本友好協会(山梨県大月市)のネパール本部(首都カトマンズ)を通じ、幼稚園児から大学生まで約八千人が通うバグマティ校の子どもとその家族に使ってもらおう。

GW三島によると、ネパールは十分なワクチンを確保できず、感染防止にはマスク着用しかないのが現状だが、価格が高騰しており、貧困層は買うことができないという。

(渡辺陽太郎)